

# 子どもたちへの福祉教育活動

## 支援メニュー



### 社会福祉法人愛荘町社会福祉協議会

#### 愛知川事務所

愛荘町市 7 3 1 愛荘町立福祉センター愛の郷内

電 話 4 2 - 7 1 7 0

F A X 4 2 - 7 1 7 8

#### 秦荘事務所

愛荘町安孫子 1 2 1 6 - 1 愛荘町立福祉センター  
ラポール秦荘いきいきセンター内

電 話 3 7 - 8 0 6 3

F A X 3 7 - 4 3 4 3

# 子どもたちへの福祉教育

愛荘町社会福祉協議会（以下、社協といいます。）では、各学校をはじめとする教育機関や福祉関係機関・団体、地域のみな様と協働しながら、子どもたちに福祉を学んでいただき、人を思いやる心と優しい行動ができる人間への成長を願って福祉教育に関わる活動に取り組んでいます。

今回は、社協で取り組んでいる活動や支援している内容をご紹介します。

## ★福祉について～福祉って何だろう？～

福祉の仕事や資格のこと、障がいやバリアフリーのことなど、福祉について社協職員や関係者・当事者からの話をとおして学びます。

## ★福祉体験～触れて感じて福祉を学ぼう～（P4～）

### 車いす体験

車いすの利用方法・介助方法や車いすを使う生活を学びます。

### アイマスク体験

アイマスク体験をとおして、視覚障がいについて学びます。

### 点字体験

当事者の話や点字体験をとおして、視覚障がいについて学びます。

### 手話体験

当事者の話や手話体験をとおして、聴覚障がいについて学びます。

### 施設見学

福祉センター愛の郷、やすらぎデイサービス、ふれあい共同作業所、わんぱくひろば等の見学・体験をとおして、地域にある福祉施設の役割を学びます。

## ★ボランティア活動について

「ボランティア活動ってなんだろう?」「どんな活動があるのかな?」など、ボランティア活動がどういうものなのかを学びます。

また、ボランティア活動を実際に体験し、体験をとおしてボランティアについて学びます。

## ★地域とのつながり～みんなが暮らす町の福祉について～

身近な福祉にはどんなものがあるのか、町のなかのバリアフリーや普段の生活から、福祉を見つけます。

## ★共同募金について

「赤い羽根共同募金は、いつ、何のためにできたのだろう?」

「募金はどのくらい集まるの?」

「集まった募金は何に使われているの?」など、共同募金について学びます。

また、赤い羽根共同募金で使用する募金箱づくりなど、啓発活動・体験をおこないます。



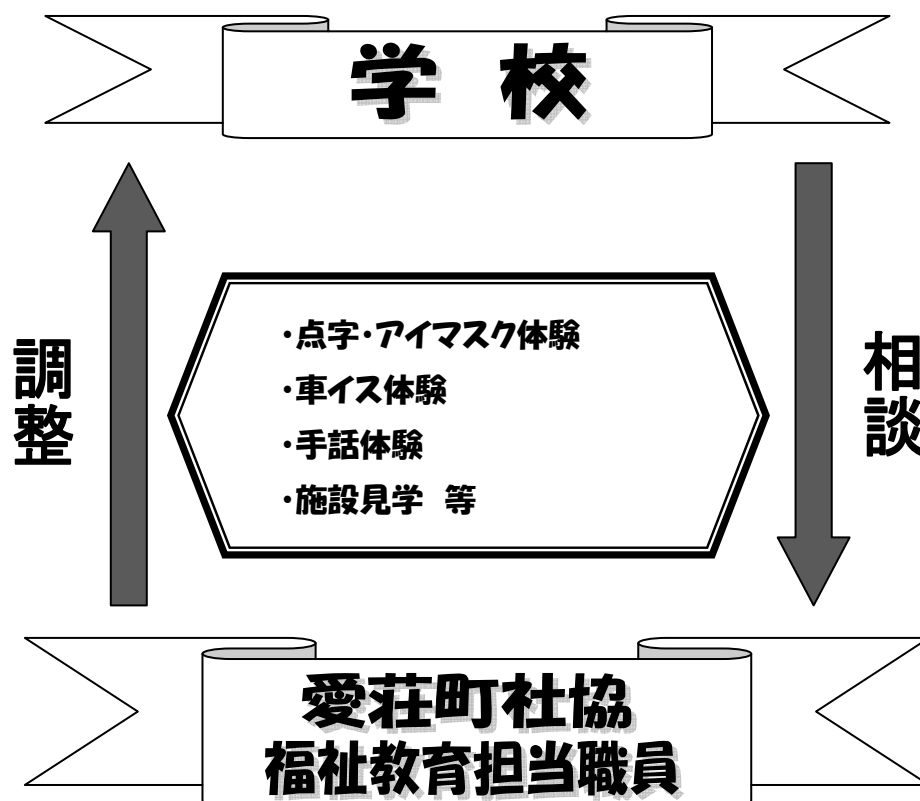
## ★災害支援に関する話

福祉に関連した内容を中心とした災害時の福祉活動・ボランティア活動について学びます。

また、「クロスロードゲーム」や「避難所運営ゲームHUG」をとおして、災害時を想定した学習をおこないます。

# ～福祉教育調整の流れ～

愛荘町内には4つの小学校、2つの中学校、1つの高校があります。  
子どもたちの福祉教育の場として、各学校で取り組んでおられる総合学習やボランティア体験  
をとおして、福祉について学んでいただいています。



視覚障がいについて学んでいます。



車いすでできること、できないことは何だろう？

# ①車イス体験

車イス体験をとおして、車イスで生活されている方が普段どのように感じておられるかを体験します。

地域にあるバリアフリーについても知ってもらい、身近にある「福祉」を学びます。また、車イスに乗っている人に出会ったとき、自分たちがどのような手助けができるのかを学びます。

## <学習内容>

- ・車イスの使用方法、介助方法
- ・バリアフリーについて
- ・車イス体験(実際に乗ってみよう)



車イスの使い方を学びます



実際に体験します

# ②アイマスク体験

アイマスク体験をとおして、視覚障がいについて学びます。

アイマスクを付けて学校内を歩く、文字を書くなどの体験をして、視覚障がい者の方の普段の生活がどのようなものなのかを実際に体験します。

## <学習内容>

- ・視覚障がいについて
- ・バリアフリーについて
- ・誘導の仕方
- ・アイマスク体験(学校内を歩いてみよう)



学校内を歩きます

# ③点字体験

視覚障がい者の方に講師を依頼し、視覚障がい・点字について学びます。

視覚障がい者の方が普段どんなことで困っているのか、どんな生活をされているのかを学びます。

## <学習内容>

- ・視覚障がいについて
- ・生徒からの質問
- ・点字体験(点字をうってみよう)



講師による点字の実習



実際に点字をうってみよう

# ④手話体験

手話サークル「ゆびゆり」さんに講師を依頼し、聴覚障がいについて学びます。

聴覚障がい者の方が普段どんなことで困っているのか、どんな生活をされているのかを学びます。

## <学習内容>

- ・聴覚障がいについてのDVD
- ・当事者のお話
- ・口形ゲーム
- ・ジェスチャーゲーム
- ・手話を覚えよう 等



当事者のお話



手話であいさつ

# ⑤施設見学・体験

## ○デイサービスでの体験

- ・高齢者とのふれあい活動、介助・介護の補助
- ・福祉施設等の整備や清掃活動

## ○わんぱくひろばでの体験

- ・わんぱくひろばに参加している子どもとのふれあい

## ○作業所での体験

- ・利用者とのコミュニケーション
- ・作業所での仕事を体験



デイサービスでの福祉体験



わんぱくひろばでの体験



作業所で実際に仕事体験

## 体験の目的

- ・乳幼児やお年寄り、障がい者とのふれあいをとおして、お互いの存在を理解し自他を愛する心情を育てます。また、ボランティア活動をすることにより、社会に貢献する基礎を身につけます。
- ・福祉の現場で、実際に見聞や体験したことをとおして、福祉を身近な課題として認識し、社会で支援の必要な人をどのように理解しどのように接していくのかを考え、共に生きる社会を目指す態度を養います。
- ・福祉について学び体験することをとおして、よりよく生きる社会の実現をめざす自己の生き方を考え、将来の進路選択に役立てます。

## ちょっといい話

作業所で一緒に体験した子どもたちが、春休みや夏休みにボランティアとして参加してくれています。



# ⑥ クロスロードゲーム

## ○防災・減災ゲーム「クロスロード」

災害が起こったときを想定して、各問題について、YESかNOのカードで自分の考えを選びます。

お互いにその答えを選んだ理由を聞くことで、さまざまな考え方や視点に出会うことができるゲームです。

このゲームに正解はありません。お互いの考え方の違いに気づき、さまざまな考え方を共有します。



グループで話し合います

## 体験の目的

- ・緊急時のことを想定して、自分がそのときにどう判断をするのか、カードゲームをとおして考えます。
- ・なぜその答えを選んだかを話し合うことによって、お互いの考え方の違いに気づき、さまざまな考え方を共有します。



意見の交換をします

例えば、このような問題があります。

### 問題5 あなたは・・・中学3年生

大きな地震が起こり、自宅に帰る途中、腕を骨折した人を見かけました。幸い公衆電話が近くにあり、通じたので救急車を呼びました。一緒に待っている間に、授業で応急手当の仕方を学んだことを思い出しましたが、やり方をはっきり覚えていません。

さて、あなたは、待っている間に応急手当をしますか？

それとも、応急手当はせずに救急車の到着を待ちますか？

Yes (応急手当をする) / No (応急手当をしない)

### 問題2 あなたは・・・小学校6年生

大きな台風で近くの河川が増水したため、避難所(中学校体育館)に避難しなければなりません。しかし、家族同然の飼い犬「もも」(ゴールデンレトリバー・メス3歳)がいます。

さて、あなたは、いっしょに避難所に連れて行く？行かない？

Yes (行く) / No (行かない)



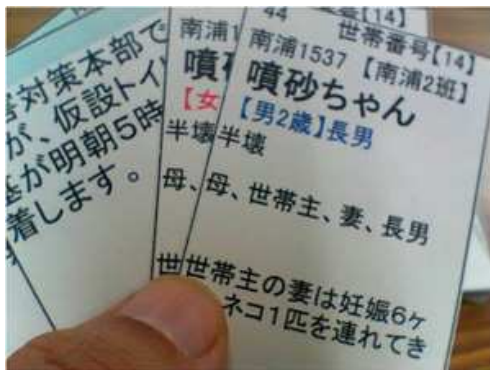
# ①避難所運営ゲーム (HUG)

## ○避難所運営ゲーム(HUG)

大地震が発生した場合、被災した多くの人々が避難所での生活を強いられることになります。もし、あなたが避難所の運営をしなければならない立場になったとき、最初の段階で殺到する人々や出来事にどう対応すればいいのかを、ゲームを通して考えます。

避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームです。

プレイヤーは、このゲームを通して災害時要援護者への配慮をしながら部屋割りを考え、また炊き出し場や仮設トイレの配置などの生活空間の確保、視察や取材対応といった出来事に対して、思いのままに意見を出しあったり、話し合ったりしながらゲーム感覚で避難所の運営を学ぶことができます。



グループで話し合います



意見の交換をします

**その他にも**

# 災害支援ボランティア活動



平成23年3月11日に発生した東日本大震災をはじめ多くの災害において、復興支援活動としてボランティアが活動をされています。

災害支援から見るボランティア活動や地域の福祉活動について、被災地の復興支援活動者の話や活動写真を交えながら「私たちにできる災害支援活動」や「災害に備えた活動」・「人と人との絆」について学びます。

## 活動内容

### ★災害支援ボランティア活動★

- ・復興支援活動の話
- ・私たちにできる活動を考えよう
- ・実際に被災地での活動をおこなわれた方の体験報告などの話し
- ・災害に備えた活動について学ぶ
- ・災害支援のボランティア活動には、どのような活動があるのか



高校生との震災復興活動について学習会

その他にも

# サマーナイトキャンプ

## 内容



車イス・アイマスク体験



カヌー体験

サマーナイトキャンプは、児童健全育成の一環として小学生を対象に、サマーナイトキャンプの体験をとおして集団生活のルール、マナーの大切さを学ぶとともに福祉についての関心を高めることを目的として開催しています。

キャンプの中には社協職員による福祉のお話、講師を招いての福祉学習、またデイサービスの特別浴槽見学・入浴等福祉についての関心を高める内容となっています。

毎年度、定員を超える申し込みがある人気の企画です。

## 実施内容例

### ★ 1日目

- 13:00～ 開会式
- 13:30～ 福祉について学ぼう①  
「町内の施設に車イス・アイマスク  
を使って利用してみよう」
- 17:30～ 夕食
- 18:30～ 特別浴槽見学・入浴
- 19:30～ 福祉について学ぼう②  
「募金箱をつくってみよう！」
- 20:30～ レクレーション
- 21:00～ 就寝準備 (21:30 就寝)

### ★ 2日目

- 6:30 起床・洗面・寝具整理
- 7:00～ 朝食
- 7:40～ 荷物の整理・掃除
- 8:10～ 愛の郷出発
- 9:00～ カヌー体験  
安土B&G海洋センター
- 11:45～ 海洋センター出発
- 12:15～ アンケート記入・閉会式
- 12:30 終了

みんなで進める

笑顔あふれる

福祉のまちづくり

